

海の学びを広げよう――
あなたの活動を支援します。

船の科学館
海の学び
ミュージアム
サポート

日本中のミュージアムを

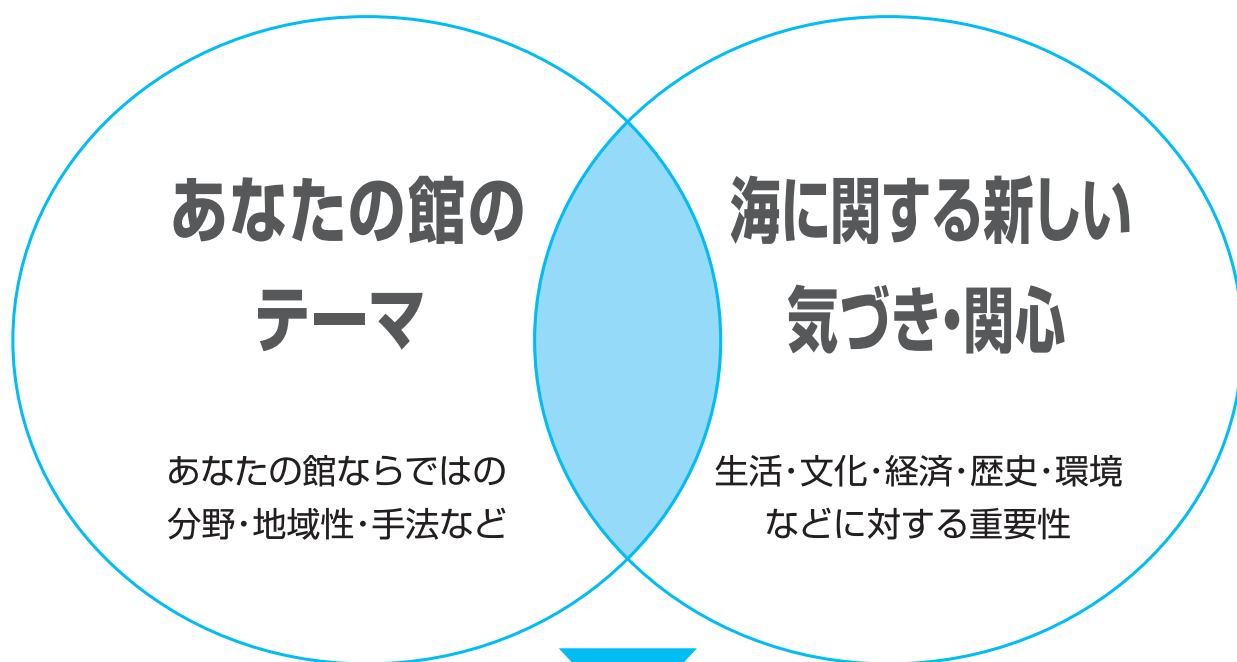
海の学びを広げよう—— あなたの活動を支援します。

海に囲まれた日本だから、海の大切さを学ぶ体験を日本中へ。
博物館、美術館、水族館をはじめ、
あらゆるミュージアムの活動を支援し、学びの場を広げていく。
それが「海の学び ミュージアムサポート」です。
あなたの館ならではの、
海の展示・事業・イベントなどをあらゆる角度からサポートします。
ミュージアムの数だけ、「海の学び」がある。
さあ、あなたの館でも、新しい活動を。

「海の学び」とは

本事業における海の学びとは、「海洋教育」の一環となる活動です。
海洋教育とは、「海に親しむ」ことから始まり、「海を知る」ことで海への関心を高め、
さらに海と人との共生のために「海を利用」しながら「海を守る」ことの大切さを学ぶものです。
社会教育の観点はもちろん、学校教育をも含め、
「海洋」に関する生涯学習の場を広げることを目指しています。
「海を守る」ことの大切さを学ぶことで、毎日の中で海を意識して行動できる人を
数多く育成し、次世代に豊かな海を引き継いでいきます。

支える、新しい仕組みです。



「海の学び」

あなたの館独自の切り口で、
海の学びを生みだしてください。

海を専門としない、あなたのミュージアムにも。

海にまつわる知識やノウハウを持つ館はもちろん、これまで海に関連する活動を一切行ったことのない館も積極的にサポートします。海の価値はさまざまです。「うちの館は、海とは関係ないな」というミュージアムにも、実は海をとりあげるテーマがある、という場合がたくさんあります。

Case1

海を有する県の総合博物館

海中の遺跡をテーマとした活動による海の学び

Case2

山の中の自然史系・歴史系資料館

山・川・海のつながりをテーマにした活動による海の学び

Case3

街の中の美術館

海をテーマとした演劇やアウトリーチ活動による海の学び

ミュージアムの活動に合わせ

企画展を開催したい

プログラム①「海の企画展サポート」

あなたの館ならではの切り口で、「海の学び」を生む企画展の資金をサポート。企画展及び関連するイベントもサポートします。



ミュージアムパーク茨城県自然博物館
(2020年度事業)



宮崎県総合博物館 (2024年度事業)



新たな教育普及事業を行いたい
教材キットを作成したい
など

プログラム②「海の

Aコース 博物館活動

企画展以外の「海の学び」を生む博物館での多種多様な事業・イベントをサポート。



長崎市恐竜博物館
(2023年度事業)



長崎県美術館
(2017年度事業)



御食国若狭おばま食文化館
(2019年度事業)



募集時期や支援金額について

さまざまなサポートプログラム

海の学びの事業実施に向けた調査研究を行いたい

プログラム③「海の学び調査・研究サポート」

あなたの館ならではの、オリジナリティのある「海の学び」をカタチにするために。準備のための調査・研究活動の資金をサポートします。



名古屋市博物館
(2017年度事業)



秋博物館 (2023年度事業)



博物館活動サポート

学校向けのプログラムを展開したい
学校で活用できる教材を作成したい
など

Bコース 博学連携活動

学校教育現場と社会教育施設の連携による、次世代への海を
テーマにした新たな学びの機会をサポート。



南さつま市坊津歴史資料センター
輝津館 (2015年度事業)



様似郷土館
(2018年度事業)



国立極地研究所 南極・北極科学館
(2021年度事業)



は最終ページをご確認ください。

サポート内容

申請から結果までの流れ

STEP1

事前連絡

ホームページ上から「申請に係る事前のご連絡」ボタンよりご連絡ください。

STEP2

登録情報の入力

申請前に、支援ポータルサイトの「登録情報」から申請団体・担当者・博物館の基本情報を入力してください。登録内容は申請フォームに反映されます。

STEP3

申請フォームの入力

STEP1で登録したメールアドレスにメールが届きます。メールに記載されているURL（支援ポータルサイト）より申請を行ってください。

STEP4

審査・選考結果

場合によっては、事務局より選考・審査前に申請内容の確認をお願いすることがございます。採択結果については、支援ポータルサイトよりご確認ください。※お知らせのメールが届きます。

STEP5

契約

申請事業の採択後は電子契約にて契約締結を行います。

STEP6

事業の開始

契約締結後、支援ポータルサイトへログインします。「事業ページへ進む」より本登録をお願いします。

▶ ホームページ

海の学びミュージアムサポート

検索

<https://uminomanabi.com>

ご不明な点等がございましたら、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

よくあるご質問はホームページをCHECK！



求められる事業の姿（8つの視点）

事業の目的（目指す状態）

モデルの構築

先駆的な取り組み、またはユニークな手法により、今後、他のモデルとなる事業。

事業の目的（目指す状態）

社会的インパクト

博物館が中心となり、地域内の教育機関や産業等の各セクターを巻き込んだムーブメントの創出が見込める事業。

事業内容・計画

「海の学び」の実効性

「海に親しむ」ことから始まり、「海を知る」ことで海への関心を高め、さらに海と人との共生のため「海を利用」しながら「海を守る」ことの大切さを学ぶことを目的とした事業。

事業内容・計画

計画性

事業の目標が目的に沿って明確に設定されており、目標を実現するための事業計画・資金計画が適正かつ合理的である事業。

事業内容・計画

成果測定

計画段階で成果の測定指標を作り、今後の展開や改善に向けた成果測定に積極的に取り組む事業。

事業内容・計画

継続・発展性

事業成果後も財源を確保、開発するなどし、自主的に継続、発展させていく具体的な計画がある事業。

事業内容・計画

連携とその効果

多様な関係者を巻き込み、事業の社会的意義を高めるとともに効果的に実施する工夫がある事業。

事業内容・計画

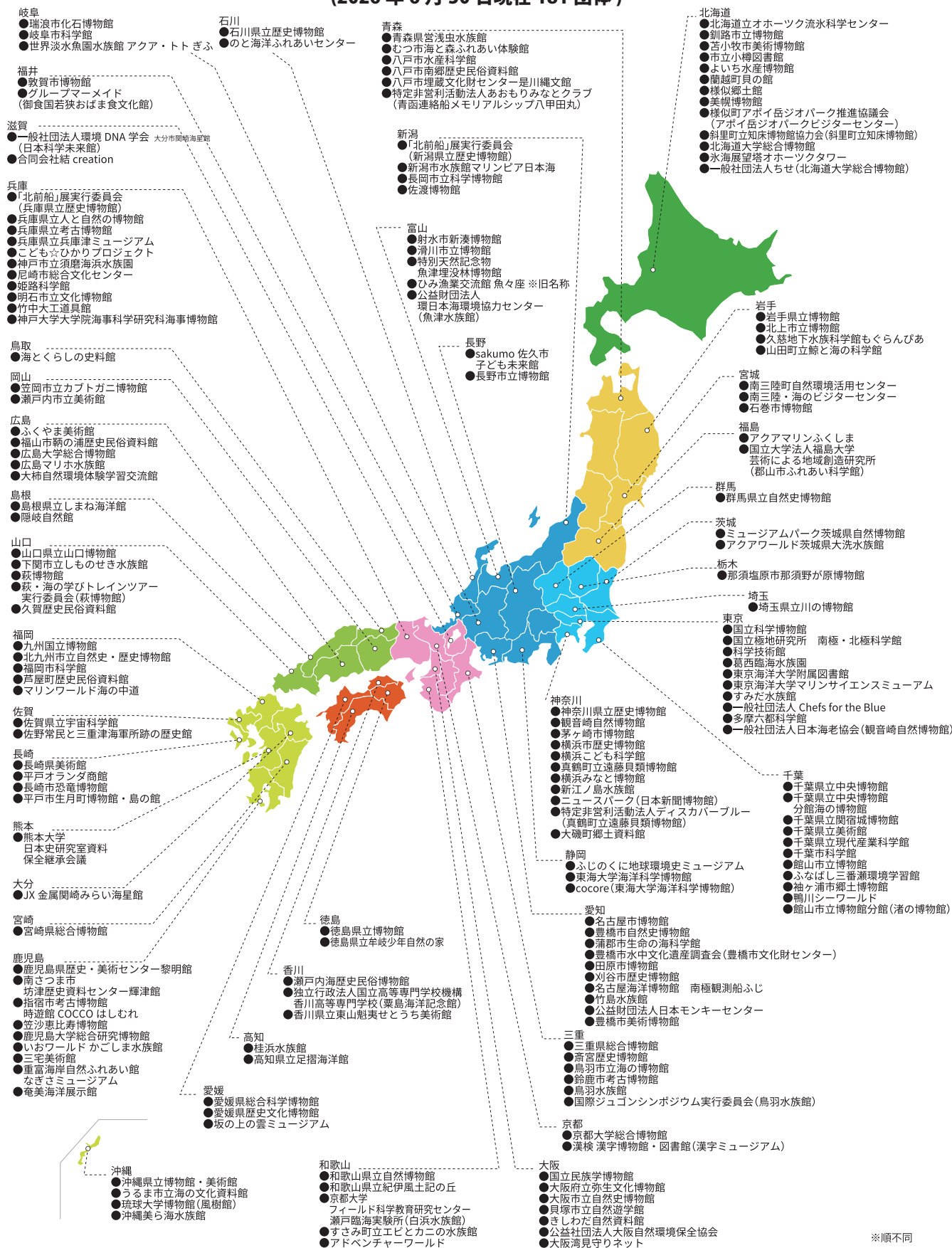
戦略的な広報

効果的な情報発信や広報の工夫がされている事業。

「こんな取組も対象になるんだ！」
ホームページではそんな事例をご紹介します。

サポート活用施設(機関・団体)一覧

(2026年6月30日現在 181 団体)



※順不同



公募受付スケジュール

プログラム1,2,3 共通

1次募集

2027年4月1日以降に事業期間を開始する事業

1次募集申請受付期間：2026年11月15日(日)～2026年11月30日(月)

①



公募案内

10月頃～

②



申請受付(1次分)

11月

③



内示通知

2月下旬頃

④



事業期間開始

4月1日～

2次募集

2027年8月1日以降に事業期間を開始する事業

2次募集申請受付期間：2027年4月15日(木)～2027年4月30日(金)

①



公募案内

10月頃～

②



申請受付(2次分)

4月

③



決定通知

6月下旬頃

④



事業期間開始

8月1日～

❗ 今期より受付方法や期間が変更になりました。詳しくは支援実施要領をご確認ください。

Program 1

海の企画展サポート

●支援金額上限無し / 支援率上限80%

Program 2

海の博物館活動サポート

Aコース
博物館活動

Bコース
博学連携活動

●支援金額上限300万円 / 支援率上限100%

Program 3

海の学び調査・研究サポート

●支援金額上限50万円 / 支援率上限100%

船の科学館
海の学び
ミュージアム
サポート



公益財団法人 日本海事科学振興財団
船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」事務局
〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目8番3号 汐留エッジ5階
TEL:03-5500-1113 / FAX:03-5500-1190
E-mail:uminomanabi@funenokagakukan.or.jp

